

第一東京市立中学校 東京都立九段中学校 東京都立九段高等学校 千代田区立九段中等教育学校〔同窓会報〕

菊友会報

第116号

2026年(令和8年)1月1日

発行=菊友会

編集=広報委員会

HP

<事務局> 東京都千代田区九段北2-2-1

千代田区立九段中等教育学校内(〒102-0073)

TEL (03)3263-2448 / FAX (03)3263-1033



🌐 <https://www.kikuyukai.com/> ✉ info@kikuyukai.com



あけましておめでとうございます 2026年、菊友会は法人化を目指します

(篠原慎一・高27、理事長)

2029年の菊友会創立100周年に向け、持続可能な同窓会像を追求する中で、会員や母校から頼られる存在として、卒業生や母校、生徒を直接支援する体制を整えていきたいと考えています。

支援を実現する際には、何より菊友会の公共性が明確であることが必要となります。学校が大きな支援を受ける場合に、後々東京都や千代田区の教育委員会からの監査が入ることも考えられます。現在の任意団体のままでは信頼性が薄く、法人化することで菊友会の背景に何ら不都合な意図のないことが証明できます。そこで2025年の評議員会では「菊友会の法人化準備開始」につきご提案し、満場一致でご承認をいただきました。

以来、法人化推進プロジェクトチームを中心で具体案を検討し、理事会でも様々な議論を重ね、現在今春の評議員会にて菊友



法人化推進プロジェクトチームのメンバー

会の「一般社団法人」化の提起をするべく準備を進めています。つきましては、現段階

でのその目的と目指す姿につき、以下のようにご説明させていただきます。

法人化のメリット

- ① 法人化により社会的信用を高め、卒業生や母校、生徒への支援をさらに充実できます。
⇒「法人」として、例えば○○支援基金などを設立することが可能になります。
- ② 寄付金の取扱いで税制上の優遇処置を受けることができます。

⇒任意団体としての菊友会への寄付金は年間合計額が100万円を超えると贈与税が発生しますが、法人化すればそれが免除されます。

以上を踏まえて、10月理事会を皮切りに、定款内容や移行方法について議論を深めているところです。(2ページにQ&Aおよび組織イメージ図を掲載)

2026年度菊友会行事カレンダー

- * 3月29日(日)
尽性園桜まつり
 - * 4月15日(水)
春の菊友ゴルフ大会
於：佐倉カントリー倶楽部
 - * 5月16日(土)
評議員会 於：九段中等教育学校
 - * 8月22日(土)～23日(日)
至大荘懇親会
 - * 10月11日(日)
菊友会大会 於：Hグランドヒル市ヶ谷
 - * 10月18日(日)
第34回東京校歌祭 於：杉並公会堂
 - * 11月(予定)
秋の菊友ゴルフ大会
於：佐倉カントリー倶楽部
 - * 11月(予定)
関西菊友会総会
- ◇ 高28回 卒業50周年記念同期会 開催年
◇ 高53回 卒業25周年記念同期会 開催年

菊友会改革の現状

2024年春、私が理事長となり目標に掲げたのは「持続可能な菊友会を目指す」ことで、次の3つの重点活動を定めました。

1. 財務基盤の強化
2. 情報基盤の強化
3. 法人化

その現状報告をさせていただきます。

1. 財務基盤の強化

ア. 会費納入方法の多様化

2024年から1年をかけて研究し、2025年7月から主として「会費納入のコンビニ払込み」と「カード支払い」を実現、大きな効果を上げています。

イ. 寄付金取扱いの強化

菊友会100周年に向け、寄付金受け入れにより資金確保を図っていきます。

2. 情報基盤の強化

個人情報保護の観点により、2024年以降母校から卒業生名簿が提供されなくなりました。そのため新卒業生

には菊友会への登録をまずはお願いし、名簿を作成するところから始めています。卒業生名簿を管理するのは菊友会だけとなる中、1万3千名余の校友ネットワークの維持に最大限の注力をしていきます。

そのためにも、事務局にはMicrosoft 365とFUNDEXWeb(会費納入システム)の新規導入を図り、業務の効率化と省力化を進めています。

3. 法人化

前述のように、2029年の「菊友会創立100周年」に向け、一般社団法人化により、母校や生徒、あるいは卒業生などへの支援を強化していきます。

以上、一定の成果を見たものもあればまだ途上のものもありますが、不断の努力で完遂を目指しますので、会員の皆様には引き続きご理解、ご支援を賜りたく、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

法人化に関するQ&A：この半年間に寄せられた主要なものについて

Q1. 法人化までの手順は？

A ①定款案・細則案の作成(法人名称含む)、②理事会での法人化案の承認(2月初めまで)、③定款案につき公証役場との事前打ち合わせ(2月～3月)、④申請書類の作成(4月中に準備)、⑤評議員会での法人化案の承認(5月16日予定)、⑥公証役場での定款認証及び法務局への登記申請(申請後3日ほどで法人設立完了)、⑦法人社員の方々を定款・細則とともにホームページに掲載(会員専用ページ)、⑧法人印を作成し銀行口座を開設、現在の資産を移動(⑦⑧は6月初旬)

Q2. 法人化に必要な経費は？

A 合計 325,891円(2026年度予算に計上予定)

●内訳：①登録免許税または印紙税等 112,290円、②司法書士への報酬(消費税込み) 200,601円、③調査費・郵送費 3,000円、④法人印作成費 10,000円

Q3. 法人化による工数増/費用増は？

A 修正登記以外には工数増/費用増はほぼありません。

SQ1. 会計書類作成や決算書類などの運営関係のコスト増は？⇒ 事務局での経理処理は、これまでも税理士(同窓の監事)の指導を受け法人並みの処理を実施。同様に運用する予定です。

SQ2. 法人税、地方税がかかるのでは？⇒ 東京都税事務所分として、法人住民税均等割額(所得の黒字、赤字を問わず課税される)があり年額7万円。

SQ3. 消費税の発生は？⇒ 菊友会には課税売上がなく消費税免税事業者となります。

SQ4. 事務局員の社会保険(社保・健保、雇用保険)加入が必要では？⇒ 事務局員は週2回の勤務(6時間×2日)であり、社会保険加入条件「所定労働時間が20時間以上/週」を越えず、社会保険加入は不要です。

SQ5. 法人化に伴う定常的な費用は他にないか？⇒ 理事の変更があった場合は修正登記費用(登記料1万円+手数料6万円)が必要。

Q4. 社員となった場合、兼業とならないか？(会社への届け出は必要か？)

A 一般社団法人の社員とは兼業に相当する活動ではありません。

一般社団法人の社員とは、社員総会における議決権を行使する者で、簡単に言うと株式会社における株主に似た立場ですが、無報酬で利益分配もありません。兼業とは本業とは別に収入を得る副次的な仕事を行うことを指すので兼業には当たりません。

Q5. 他校同窓会の一般社団法人化は？

A 把握済みの都立高校では、立川高校、戸山高校、青山高校、江戸川高校、三田高校、白鷗高校、国立高校などの同窓会が法人化をしています。

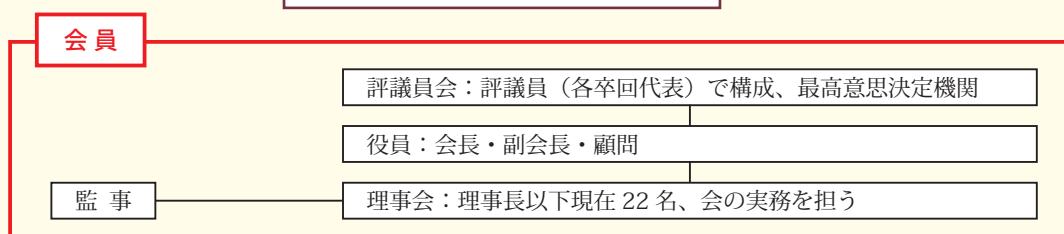
Q6. 一般社団法人では寄付する側の会員や企業等には税制優遇メリットが無いので、寄付金の受け皿として公益法人にしてはどうか？

A 母校と生徒を含む同窓生だけのための活動では公益法人になれません。

公益法人は広く公共の利益となる活動を目的とする必要があります(公益目的事業が事業全体の50%以上が要件)。菊友会では当面このような条件を満たす活動は想定されていません。

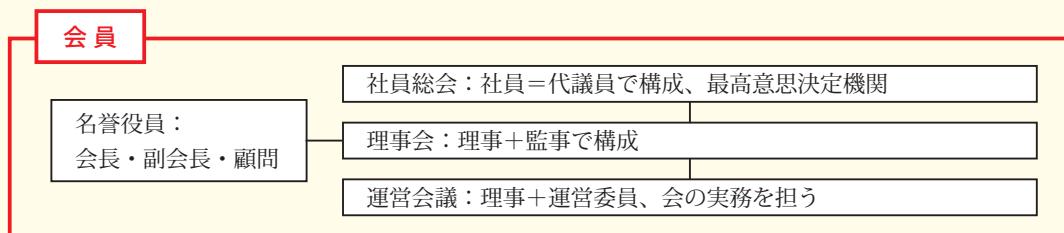
菊友会の組織(イメージ図)

1. 現在



特別会員

2. 法人化後



特別会員

(注) 代議員：各卒業年度代表と理事会から推薦された会員のなかから社員総会で選任
 運営委員：本会の目的に賛同し運営に積極的関与を希望する会員のなかから理事会が選任
 特別会員：母校の旧現教職員で加入を希望する者



母校の行事を取材しました

○至大莊 7月28日(月)～8月1日(金)

九段の象徴的伝統行事である「至大莊」は、太平洋戦争や東日本大震災、コロナ禍での中断はあったものの、第1回の1927年(昭和2年)から数えて2025年は99年目の夏を迎えるました。次の夏はついに100周年です。

今回も前年同様に前後期ともに2泊3日の日程で開催予定でした。生徒さんたちは意気揚々と入荘し、また前年参加できなかった卒業生の游泳助手さんも人数の制約はありましたでしたが今回は参加となりました。しかしながら台風接近で高波注意報が発表され、前期は2日目の午前を以て行事は中止されました。海での訓練は2回だけでしたが、みな一生懸命游泳に励みました。さらに残念なことに翌朝カムチャッカ沖の大地震で津波警報が発表され、生徒のみならず教職員も高台への避難を強いられ、着のみ着のままバスで帰京することとなりました。後期に至っては全日程中止で生徒さんは至大莊に来ることも叶いませんでした。



母校提供

4年生の皆さんは今回残念でしたが、学校行事でなくとも菊友会や法人九段の行事で皆さんのがんばりが過ごした空気を味わいにぜひ足をお運びください。九段伝統の臨海寮、至大至剛の至大莊へ。

【第1期】7/28(月)～7/30(水)

【第2期】7/30(水)～8/1(金)

<上記日程は事前の予定、実際は7/29(火)午後以降中止>

(佐々木幸一・高38)

○九段祭 9月13日(土)～9月14日(日)

連日30℃を超える残暑の中、第20回九段祭が開催されました。

初日の朝、前期課程の合唱コンクールを楽しみに待つ家族連れが長蛇の列を作りました。観覧席も満席と、出演する家族を優先に都度入れ替えを行ったため、午後の部

は30分押しでスタートする盛況ぶり。

後期課程はクラス劇部門、有志団体はパフォーマンス部門と展示部門に分け、部門ごとに賞を競う2日間。各団体で制作したTシャツを着用し、大きな声で自信をもって勧誘する生徒を横目に、制服姿の前期課



母校提供

程生徒が見学先を選んでいました。

その勧誘のおかげからか、どのクラス劇も開演前の待ち客が列をなし、入場と共に満席になるクラスが殆ど。演目はどれも楽しく、あつという間の30分でした。

剣道場に香る書道パフォーマンスの墨汁、息をのむ沈黙からの歓声にどこか懐かしさを感じる中、折り紙研究会という立ち上げ1年目の部も参加するなど、新しい風もありました。

この2日間、休む間もなく裏方に徹してくれた放送部の生徒の汗も印象的です。

体育館では吹奏楽部の公演も。真っ暗闇の中にたった一つ灯るペンライトが振られると、全68名のエレクトリカルパレードが始まり、行進と音楽に手拍子が重なりました。途中、「銀河鉄道999」では、予期せぬ校内放送が入るも乱れることなく終演。MCの生徒の機転を利かせたアドリブもアンコールに拍車をかけたようです。

今の前期課程生徒がけん引する未来が楽しみです。

(橋本香織・高49)

♪九段中等教育学校吹奏楽部演奏会ご案内♪ 入場無料、どなたでもご入場いただけます

名称：千代田区立九段中等教育学校吹奏楽部 第18回定期演奏会

日時：2026年3月22日(日)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

開場：13:30

開演：14:00

座席予約：詳細は九段中等教育学校ホームページに掲載予定





2025年度菊友会大会、中等卒初の講演者・村岡さん（中等4）が登壇！

2025年度の菊友会大会は、11月9日(日)ホテルグランドヒル市ヶ谷で開催。

第一部の特別講演は、これまでの講師で最も若い中等4回の村岡健太さんによる「医療ドラマでは描かれない病院薬剤師の世界」。普段は知りえない病院の裏側や、将来入院をした際の心得など、興味深いお話を伺うことができました。第二部の懇親会は、幅広い世代65名の参加を得て楽しく開催。最後の校歌・至大荘歌の齊唱では会場全体で盛り上がり、心のふるさとを同じくしたような気持ちになりました。

以下、中等卒初の講演者、村岡さんの講演内容を紹介します。(伊藤直司・高27)

医療ドラマでは描かれない病院薬剤師の世界

昭和医科大学江東豊洲病院薬剤部 村岡健太(中等4)

大谷翔平と同世代

私は1994年生まれ、大谷翔平さんと年齢も誕生日も同じです。九段校舎が改修中だったため、6年間のほとんどを富士見校舎で過ごしました。当時好きだった科目は理科と化学で、恩師上村玲子先生に促されいくつかの賞に応募、入賞しました。先生との出会いによりいまの自分があると感謝しています。4年生のとき東日本大震災が起き、被災現場で活躍する薬剤師がいるという報道を目にして救急薬学の世界を目指すことにしました。

薬剤師を取り巻く環境

薬剤師は日本に32万人います。医師は34万人、看護師136万人ですから医師よりもやや少ない程度です。薬剤師の資格を持つ

た人は、薬局や病院だけでなく大学、研究施設、厚生労働省、保健所など多方面に活躍の場があります。

病院薬剤師の仕事

日本には約2万種類の薬があると言われています。当院ですと注射薬と内服薬あわせて2000種類くらい取り扱っており、その用法用量を理解しなければなりません。薬剤部では調剤、鑑査の他に、服用が難しい患者さんのために粉碎する、一包化するといった作業もしています。ただ、最近の薬剤師の主戦場は病棟です。様々な職種と連携しながら、医師と同じように病態を理解して処方提案を行います。本人・家族への薬学的指導、院内外での連携に加えて病院内外での研究活動も行っています。



入退院時の注意

皆様がもし病院に入院するがあれら、まずご準備いただきたいのは「お薬手帳」です。最近はアプリでも対応していますが、それによって病院側はその方のかかりつけ医や薬局の情報を得るだけでなく、疾患経歴や日頃の服薬状況を知ることができます。緊急入院の場合には、ぜひご家族の方がその情報を病院に提供していただきますようお願いします。お薬の質問や希望があれば退院までにご相談いただくと、当日お待たせすることが減るかと存じます。

昭和医科大学九段会

最後になりました。私の所属する昭和医科大学には九段会があり、多くの先輩後輩が活躍しています。今回もそのご縁でこのお話をさせていただきました。どうか今後ともよろしくお願ひいたします。

至大荘懇親会とゴルフ会

2025年8月23日(土)～24日(日)、参加者は計37名。海と至大荘の空気をたっぷり味わう2日間でした。初日の懇親会、水泳部OB有志が至大荘節を披露。恒例のビンゴゲームは今年も「外れなし」！ハイライトは花火大会。多彩な花火が披露され、大盛り上がり。翌朝は浜清掃に参加、地元の皆さんのが浜を大切に守る姿勢に触れ感動。



締めは昼食のバーベキュー。参加の年齢層は幅広く、世代や立場の違いを超えて、家族のような安心感がありました。今年の夏もまた至大荘でお会いできますように！

ゴルフ会は初日の朝、勝浦東急ゴルフコースで開催。5組17名の熱戦で、優勝は鎌田直樹さん(高19)。初参加の方も安心して楽しめます。ぜひ至大荘懇親会とセットでご参加を！ (高田明夫・高32)



第33回 東京校歌祭に参加

2025年10月26日、九段はトップバッターで登場、幕開けのファンファーレも母校吹奏楽部が担当。当日最多の50名が登壇、「校歌」「至大荘歌」「至大荘と共に」の3曲を高らかに歌いました。(高田明夫・高32)



祝！第80回 秋の菊友ゴルフ大会

2025年11月12日、秋晴れの佐倉カントリーで開催。今回は高9回から高36回まで多彩な顔ぶれで26名が参加。優勝は赤司久雄さん(高15)。次回は4月、若い皆さんの活躍を期待！ (百束英二・高25)



祝！第40回 関西菊友会総会・親睦会

2025年11月16日、大阪キャッスルホテルにて、高4回から高42回までの21名で開催。大阪工業大学工学部教授の米田達郎さん(高42)が『漫画と日本語史』についてご講演。天体・人称用語の漫画表現と日本語史の関係などのお話を興味深く伺い、盛会のうちに開きとなりました。

(出口正之・高26)



尽性園桜まつり2026 は3月29日開催！

去年は300人超の老若男女が参加、大盛況でした。参加費は大人2,000円・子供1,000円で軽食とビールなどの飲み物を提供します(持込可)。新卒中等17回生は参加費500円！ そして雨天決行！ 室内でのゲームも実施します。この機会に同期会・クラス会・部活同窓会(事前予約制個室あり)はいかがですか？ 詳細はHPにて。(実行委員会)

投稿ページ

同期会やクラス会、部活同窓会からのお便りが届きました。
ご投稿ありがとうございます。一部短縮編集させていただきました。

高3回同期会(菊朋会)

2025年11月7日に例年と同じ「綴」で開催した。我々も93歳となり健康や体調に問題ある人が多く出席は6名であった。

行方会長の挨拶に続いて菊友会・福井副理事長から菊友会や母校の近況を話していただき、その後に各出席者からスピーチがあった。今年は昭和20年に旧制九段中学に入学して以来80年目の節目であり、戦時中のことなど昔話に花が咲いた。

誰もが母校を愛する気持ちと、懐かしさが強いようで、来年も当会を続けることとなり、幹事がもうひと踏ん張りしなければならなくなつた。

(中川繁)



高7回秋の79会

秋晴れの2025年11月8日、秋の79会を開きました。

間もなく卒寿(90歳)を迎える方や進む苦労を乗り越え、杖を頼りの方も含めて12名も集まり、お互いに意気盛んにパワーを交換しながら歓談できました。

来春の卒寿の会も視野に入れながら、健康に留意し再会を約束してお開きとなりました。

(宮島徹)



九悠会第11回テニス大会

2025年4月5日、九悠会(硬式庭球部OB/OG会)のテニス大会を6年振りに桜の季節を迎える尽性園で開催しました。

当日は天候に恵まれたうえ、満開の桜も散ることなく迎えてくれて、集まったOB18名/OG6名の合計24名(第1回から11回を通じて過去最多の人数)は、午後いっぱいゆっくりとテニスを満喫することができました。

テニス大会の後は、懇親会に駆け付けた3名を加えて、矢野口駅前の居酒屋「庄屋」に16名が再集合しました。参加できなかったOB/OGから寄せられた近況報告を読みながら、昔話に花を咲かせました。(秋の第12回は7ページに掲載)

(米本浩一・高25)

高17回同期会

コロナ禍による中断を経て、一昨年再開した同期会。2年に1回のペースに戻そうと早めの計画と展開を行い、熱暑に入る前の2025年6月19日開催しました。会場は懐かしい飯田橋駅に近い東京大神宮マツヤサロン。母校に近く、開催前後に馴染みの

街を散策する姿も多く見られました。62名の同期生に加え増田先生、川田先生にもご出席いただき、盛大な会となりました。

東京大神宮は縁結びの神様として有名ですが、校歌齊唱、記念写真の撮影を終えると、1965年の卒業から60年を経て新たな縁が結ばれた気がしました。(河添光男)



高18回喜寿同期会

2025年3月31日、前日までの悪天候とは変わり、満開の桜に囲まれた「グランドア

ーク半蔵門」にて開催。コロナ禍もあり約8年振りの開催でしたが、83名が参加。亡き友への黙祷から始まった会もあつという間に2時間は過ぎ、九段高発祥の地の碑や千鳥ヶ淵の桜を眺

めながら2次会会場へ。

次回、80歳での開催を約束しての散会となりました。

(古岡孝)



高19回喜寿同期会

卒業以来58年、喜寿を迎える年に3年ぶりの同期会を開催しました。小雨の2025年10月25日、お茶の水の中央大学最上階レストランに、1組担任太田弘先生、体育

担任増田三郎先生と篠原菊友会理事長をお

招きして総勢92名が集いました。入学とほぼ同時に体験した東京五輪開会式のリハーサル参加や至大莊の思い出話が始まる

り上りました。

当時の九段新聞から題材をとった「クラス対抗九段時代の思い出クイズ」もあり、瞬く間に時間が過ぎました。約40名が二次会に参加、3年後の傘寿祝いを目指して、再会を誓い合いました。

(斎藤真一)



高28回3年1組クラス会

2025年5月18日、昨年と同じ京橋の華龍飯店で開催。2004年から、コロナの時期以外は毎年開催し続けています。

昨年は岡本先生が急遽ご欠席でしたが、今年はお元気なご様子で岡本節も健在。全員で17名、近況報告などの話をしながら、あっという間の2時間でした。

来年は卒業50周年。クラス会はもちろん、20年ぶりの同期会の開催を楽しみに再会を約束し散会しました。 (高山幸彦)

**高28回3年2組クラス会**

2025年5月24日12時より、ダイニングキッチン&バー響品川店にてクラス会を開催しました。参加者19名で、当時の思い出や近況報告に話も弾み、みな笑顔が絶えませんでした。高28回は3年間クラス替えがなかった九段では珍しい代で、その分何回集まても話題は尽きません。来年は卒業50年。今回はご都合で欠席の鈴木智夫先生はじめ同級の皆さんに会えることを願っています。 (幹事:川又、小澤、山田)

**高31回3年6組クラス会**

2025年7月8日、芝公園の東京プリンスホテル3階のブッフェダイニング ポルトにおいて、3年6組のクラス会を開催しました。参加者は22名でした。一人ひとことの近況報告では、現在の仕事や家族の話、趣味の話などが聞かれました。

二次会ではコロナ禍による7年のブランクなど全然感じられないほど盛り上がり、「これからはもっと頻繁に会いたいね」ということになりました。 (岡崎稔)

**高27回卒業50周年記念同期会**

2025年9月21日、連日猛暑が続く中の開催となりました。太田先生、村木先生、岡本先生のご出席のもと、100名を超える同期生がグランドヒル市ヶ谷に集いました。

今回は初めての面白企画として、途中で1年次のクラス毎に集合し直してみること

に！ 自分が何組だったかも、担任の先生も覚えていない仲間もいて、「お前はこのクラスじゃないだろう！」などと大いに盛り上がりました。この珍企画をきっかけに1年次のクラス会を開催しようという動きも出て大成功！ 2次会にも80名以上が参加し夜遅くまで楽しみました。 (中井健一)

**高29回3年8組クラス会**

高29回3年8組のクラス会を7年ぶりに開催。遠くからの参加者を考慮し、東京駅近くのパーティ会場で、10月5日(日)の正午からスタート。クラス男子26名中13名、女子は20名中10名の古の若人が集い、当時のようにお互いを男子は呼び捨て、女子はあだ名で呼び合い、すぐに半世紀の時空を取り戻しました。逝去された担任の杉村先生と同級生2人への黙祷に続き、現役社長の今井(旧姓中村)さんの乾杯の音頭で開

会、来年の尽生園桜まつりでの再会と卒業後50周年の同期会を開こうという声でお開きとなりました。 (高田昌彦)

**マスコミ菊友会開催**

2025年6月13日、リニューアルした九段会館で開催しました。メディアをはじめ、広報・宣伝・デザイン・音楽・芸能など、発信と表現の分野で活躍する卒業生が集い、初参加の10名を含む高4～中等8回までの70名が参加しました。

元菊友会会長・高4回の高野光正氏からは、都立九段高校の区立移管にまつわる貴重な裏話を伺い、映画『正体』で日本アカデ

ミー賞を受賞された松竹プロデューサーの高60回・阿部雅人氏をサプライズで祝福。笑顔あふれる会場では、世代を超えた交流が閉会の時刻まで続きました。

次回「マスコミ菊友会」は2026年6月12日(金)を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。中等卒業生は会費もお得になっています！ 参加希望の方は菊友会事務局までご連絡ください。

(高橋洋平・高42、橋本香織・高49)

**菊友団碁会活動中！**

年4回ほど有楽町駅前の日本棋院で碁会を開き、交流を楽しんでいます。参加者は10名ほどで、棋力は2～7段、高9～19回が中心ですが、若い人も大歓迎。ご連絡お待ちしています！

電話：070-2670-7334

メール：fujikazu27@jcom.zaq.ne.jp
(藤岡和男・高18、幹事)



高52回卒業25年同期会開催

2025年9月6日、東京駅直結のレストランにて卒業25周年を記念して卒業生43名と先生3名で開催しました。菊友会理事の佐々木さんもお祝いにみました。

社会科の青山洋一先生による乾杯のご発声に始まり、英語科高山庸子先生と、時間を勘違いして遅れて登場の体育科大瀧ゆかり先生へご退職の記念品を贈呈。恒例のじゃんけん大会、先生方の笑いあり愛情ありのスピーチなど、限られた時間を最大限楽しました。九段高校で育ったからこそ共有できる心…卒立った後、自分達の核になる何かが共通する仲間。久しぶりでも初めてでも、思い出話や近況など話は尽きず。変わらず集える仲間がいる素晴らしさを実感しました。

(清水厚志)



一走会総会を開催

2025年7月18日、陸上部OB・OG会である「一走会」は、総会・懇親会を飯田橋の「ルコ」にて開催しました。

総会では、24年度の活動報告・会計報告に続いて、25年度の活動計画や維持会費について議論がなされ、承認されました。

現役への支援体制の確認も行われ、会の継続的な運営に向けた取組みが共有されました。

今回は、高20回(1968年卒)から中等16回(2025年卒)までの卒業生に加え、現顧問の濱崎先生を含む52名が参加。とくに今年卒業したばかりの中等16

回生が多く参加してくれたことから、中等と高校の卒業生の比率がほぼ同じとなり、例年とは一味違った賑わいを見せました。世代を超えて思い出話や近況報告に花が咲き、笑顔にあふれたひとときとなりました。

幅広い世代が集まることで、一走会のつながりと歴史を改めて実感できる場となりました。次回の総会・懇親会にも多くの方にご参加いただき、一走会をさらに盛り上げていきたいと思います。今回ご都合がつかなかった皆さま、ぜひ次回はご参集ください。

(中島未唯・中等13)



中等3回同期会

2025年8月10日、飯田橋で中等3回生の同期会を開催しました。一次会76人、二次会45人が集い、卒業生だけでなく在学途中で別の道へ進んだ仲間も参加。恩師にもお越しいただき、思い出話や受験時の裏話(おなもみのエピソード)に笑いが弾けました。1年時のクラス別や全体での写真撮影も行い、ゲームを通して会場は一体感に包まれました。先生方からも温かなメッセージをいただき、アンケートでは「またやって

ほしい」という声が多数寄せられ、変わらぬ絆を確かめ合う一日となりました。

次回にはより多くのご参加を願います。
(多賀谷・田辺・朱里)

九悠会第12回テニス大会

春の4月5日に続き、秋は10月13日に尽性園で開催しました。

当日はスポーツの日とあって、OB16名、OG5名の合計21名が参集、木枯らしが吹くなか夕方までテニスを楽しみました。

表彰式を兼ねた哲明寮の茶話会では、ノンアルで乾杯、互いに近況報告して親睦を深め、解散後には有志が矢野口の「庄屋」で懇親会。秋の夜長を楽しみました。

(米本浩一・高25)



逝去

会員専用ページでの掲出とします。

2025年度 維持会費のご案内 (2025年4月～2026年3月)

昨年7月より納入方法が便利になりました！

さらに払込手数料も菊友会が負担いたします！(銀行振込を除く)

年間 3,000円 (卒業後5年間は 1,000円)

コンビニで払込み

本会報の宛名台紙に印字されたコンビニ払込用紙をご利用ください。

※11月21日までに払込みがお済みの方は払込用紙が印字されていません。情報の遅延により誤って印字されていた場合にはご容赦ください。



理事会だより

菊友会は定期理事会を毎月第2金曜日に母校にて開催しています。ここに2025年6月度から11月度まで各月の議事要約を報告いたします。年間活動や予算計画、主催行事、会報、ホームページ(HP)の更新・運用など毎回活発な議論がなされています。HPも併せてご覧いただき当理事会活動に理解を深めていただければ幸いです。

<2025年6月度(6/13)>

【審議事項】①至大莊懇親会の往復はがき案内状の掲載内容を承認
【報告事項】①5/16母校にて体育祭が開催され、理事3名が出席した ②5/17評議員会が開催され、全議案が承認された ③今年度母校至大莊行事の協議途中経過について報告があった

<2025年7月度(7/11)>

【審議事項】①至大莊懇親会の予算案と実施案を承認 ②菊友会大会の案内はがきの掲載内容を承認 ③東京校歌祭での合唱部と吹奏楽部の協力に対して母校へ交通費等充当謝礼の支払いを承認

【報告事項】①今年度至大莊行事の協議経過について報告があった ②6/25 1年生対象の伝統継承HRを理事9名で実施した ③7/5懇親会を開催(九段P.A.役員5名、法九段役職員4名、菊友会理事5名が参加) ④今年度至大莊行事の開催日程 第1期 7/28～7/30、第2期7/30～8/1 ⑤2025～2027年度の学校経営評議会は原田会長、高田委員が続投する

<2025年8月度(8/1)>

【審議事項】①菊友会の入会案内パンフレットについて原稿デザイン料25,000円、印刷費60,000円程度で製作する旨を承認 ②6年生の菊友会入会金の振込手数料は菊友会が負担する旨を承認

【報告事項】①6年生への菊友会入会説明会日程は調整中。参加理事は9名を予定 ②至大莊行事の実施報告。第1期は台風の高波により2日目で中止、3日目の津波警報発表により高台に避難しそのまま帰京した。第2期は全日程中止となった

<2025年9月度(9/12)>

【審議事項】なし

【報告事項】①6年生への菊友会入会説明会は9/17の4時限目に開催が決定 ②至大莊懇親会の実施報告。日帰りを含め37名が参加した

<2025年10月度(10/10)>

【審議事項】①新理事候補(高33回堀江佐英子氏)の紹介があり次回評議員会で理事へ推薦する旨を承認

【報告事項】①9/17菊友会への入会説明会を6年生へ理事6名で実施した ②秋のゴルフ大会の通知を過去参加者に送付した

<2025年11月度(11/14)>

【審議事項】①菊友会法人化の推進プロジェクトメンバーは理事9名、定款作成と認証代行は外部司法書士とし、メンバー以外の理事からも意見集約しつつ法人化を目指す旨を承認 ②新規登録申請があったK.B.C(九段ベースボールクラブ、元九段教員の亀田洋齊先生が立ち上げた野球部卒業生を中心とした軟式野球同好会)を菊友会の同好会として承認

【報告事項】①10/25菊友会への入会説明会を6年生の保護者へ理事7名で実施。41名から入会申し込みがあり入会金205,000円を受領した。未登録者へは入会登録のお願いを引き続き行う ②10/26第33回東京校歌祭が杉並公会堂にて開催され、九段関係者は総勢61名(うち舞台へ51名)が参加した ③11/9グランドヒル市ヶ谷にて2025年度菊友会大会を盛況裡に開催した ④菊友会報116号(本紙)を銳意編集中。1～2ページは法人化について特集 ⑤新情報基盤整備および新会費納入システムは順調に稼働中

パソコン・スマホからクレジットカードで払込み

納入専用サイト「菊友会 維持会費・寄付」よりお手続きください。

【パソコン】菊友会HPトップページのリンクアイコンからアクセス
【スマホ】下のQRコードからアクセス

維持会費・寄付
WEB de 支払



(専用サイト URL) <https://fundexapp.jp/kikuyukai/entry.php>

銀行振込 ※振込手数料をご負担ください

三菱UFJ銀行 神保町支店 普通：0691551

ゆうちょ銀行 ○一九店(ゼロイチキュウ店) 当座：0504525
(ゆうちょダイレクトをご利用の場合 00150-504525)

※口座名義はすべて「キクユウカイ」です。

振込名義は必ず「個人コード+会員名」としてください。



ご存じですか？ 同期会の開催を事前にお知らせいただければ菊友会から理事がご挨拶に伺います。卒業25周年と50周年は5万円、他の年は1万円をお祝いとして持参します。菊友会報での開催告知もできますので、同期会開催の折にはぜひ事務局までお知らせください！



菊友会報に記事をお寄せください

同期会や部活同窓会の事前告知や開催報告、母校にまつわる楽しい話題など、250字程度(あれば写真1枚も)を事務局までメール送信またはご郵送ください。

中等卒業など若い方々の投稿も大歓迎！
次号の投稿締切は4月30日(木)

事務局からのお知らせ

より良い菊友会を目指して活動している理事会のもと、押し寄せる改革の波に乗らなければと、日々頑張って業務をこなしている事務局です。

◆開室日：毎週火曜日・金曜日 10:30～17:00

○年末年始の休業日：12月27日(土)～1月8日(木)

○特別休室日：2月3日(火)・6日(金) (学校業務の都合による)

日程変更がある場合はHPでお知らせします。ご確認ください。

※会員の皆さまにお願い 事務局へのご依頼等でお越しの折は、事前にご連絡ください。また、住所変更された場合は、事務局へのご連絡を忘れずにお願いいたします。

Tel : 03-3263-2448 (時間外は留守番電話に用件をお残しください)

Fax : 03-3263-1033 / info@kikuyukai.com (24時間受付)

編集後記

在校中はよく授業をさぼり、学校行事にあまり関心がなかった私がまさか菊友会理事の末席に連なるとは、人生はわからないものです。理事になり菊友会のホームページがあることや

素晴らしいイベントが開催されていることを初めて知りました。

一昨年母校は100周年を迎え、菊友会はいよいよ2029年に100周年を迎えます。継続は力なりと申しますが、100年も続

いているのは本当に素晴らしいことです。九段の良き伝統を守りつつ、急激な少子化の影響を受けながら菊友会は今後どのように継続していくのかを検討中です。

その第一弾として昨年7月維持会費の納入方法を改善しました。そして、ご寄付も容易に行っていただけるようになりました。皆様のご支援をお待ちしております。(真柄佳典・高33)